



# 補習校だより

平成28年度 第13号

平成28年8月6日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

## 夏休み明け—新しい仲間と

一ヶ月の夏休みを、子ども達はどのように過ごしたでしょうか。暑いマイアミを離れ、日本に一時帰国して日本の暑さを感じたり日本流の生活を体験したり、海外への旅行で見聞を広めたり、またマイアミの夏を楽しんだり、それぞれの過ごし方をしたことでしょう。どんな体験でも子ども達にとっては大きな成長につながります。恒例の「夏休み新聞大会」で、一人ひとりの夏を表現してくれることを願っています。

この夏、マイアミにやってきて新たな生活を始めた子ども達もいますし、補習校に通うことを決めた子ども達もいます。そんな新しい仲間を迎えて、今日からマイアミ補習校再開です。子ども達の笑顔が見えます！

## 合同学習～幼稚部・小学部3年生

6月25日に、幼稚部と小3の子ども達が合同授業を行いました。題材は“七夕”です。

幼稚部では毎年この時期に“七夕”の由来を学習したり、七夕飾りをつくったりしています。小学部3年生でも国語の学習で“きせつの言葉～夏の楽しみ”という単元を学習します。そこで今回は合同学習に取り組もうということになりました。

3年生の目標は、基礎・基本の定着という観点から季節の行事にかかわる言葉を取り上げたり、伝統的な言語文化（俳句…正岡子規などの句）に親ませたりします。幼稚部でも七夕飾りをつくることで表現・製作の学習をします。

そこで今回は“短冊づくり”を一緒に行い、3年生は「願い事を短冊に書く」ことを、幼稚部は、覚えたひらがなで「名前を書く」ことをねらっていました。ところが幼稚部の子ども達は、あっという間に「願い事」まで書いてしまいました。私の意図としては3年生が幼稚部の子ども達に“ひらがな”を教えたり、飾りづくりを手伝ったりする中で「共に学習することの良さ」も感じてくれたら、と思っていたのですが、幼稚部の子ども達の力にすっかり当てが外れてしまいました。結局どちらの学年も、短冊を仕上げ、折り紙で“ちょうちん”を作り、楽しく学習できました。



【七夕の由来についてお話を聞く】



【僕の願い事は…】